

Ⅱ-決算

- 57 月次決算手続において、決算整理仕訳の計上漏れ・誤りのリスクに対するコントロールとして、最も適切でないものを1つ選びなさい。
- a) 仮払金、仮受金整理簿から振替予定が明確でないものを抽出し、処理状況の確認を行う
 - b) 月次締切の手順について予めチェックリストを作成し、それに則って月次締切が実行されていることを確認する
 - c) 特殊事情の影響額を関係部門のヒアリング等で把握し、差異分析を実施し、マネジメントへ提供する
 - d) 共通費の配賦計算が基礎データから正しく算定されていることを確認する

- 58 月次決算を実施する目的に関する説明の組み合わせとして、最も正しいものを1つ選びなさい。

A：早期に経営の状況を把握して、迅速な対策をとること
B：年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと
C：年度決算の利益を早期に予測し、精度の高い決算見込みをたてること
D：月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと

- a) A及びB
- b) A及びC
- c) A、B及びC
- d) A、B、C、Dの全て

8 月次業績管理	8.1 月次決算実施	正解：c
----------	------------	------

月次決算手続において決算整理仕訳の計上漏れ・計上内容の誤りなどといったリスクに対するコントロールとして、決算に際して特殊事情の影響額を関係部門へのヒアリング等で把握、年度計画や前年同期実績との差異分析を行った上で、マネジメントに報告することは、決算を進める上で非常に重要な取組みであるが、決算整理仕訳の計上漏れや計上内容の誤りといったリスクに対する手続（コントロール）となるとは考えにくく、一方でその他の選択肢については、いずれもそうしたリスクを回避する手続として有効である。

したがって、正解は（c）となる。

8 月次業績管理	8.1 月次決算実施	正解：d
----------	------------	------

月次決算とは、事業年度末に行う法令による決算とは別に、主として経営管理に必要なかつ有効な情報を提供する目的をもって、毎月の営業成績や財政状態を明らかにするために行われる決算であり、次の目的をもって行われる。

- （1）早期に経営の現状を把握して、迅速な対策をとること
- （2）年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと
- （3）年度決算の利益を早期に予測し、精度の高い決算見込みをたてること
- （4）月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと

したがって、正解は（d）となる。